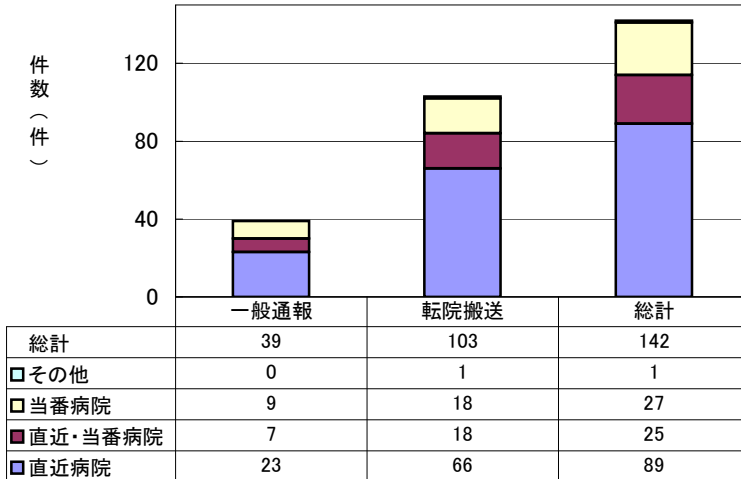


# 東京都母体救命搬送システムによる搬送事例の状況

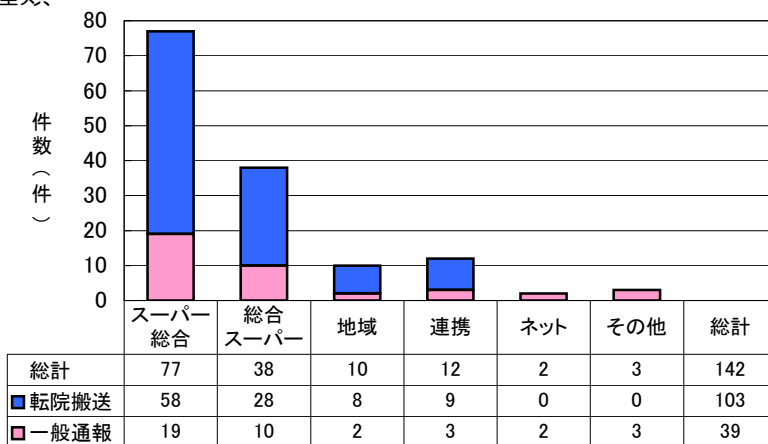
平成21年3月25日～平成23年8月31日報告受理分 142件

## 1 搬送の種類



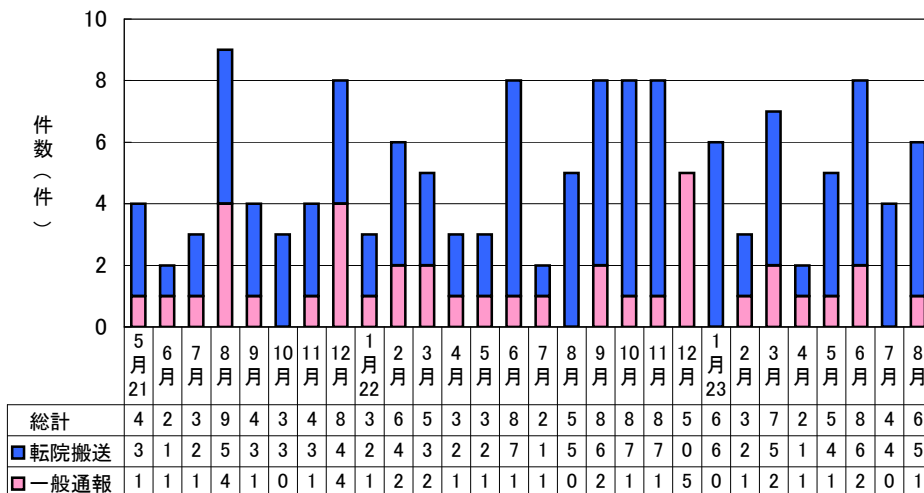
一般通報が39件、転院搬送が103件で、転院搬送が一般通報の2倍を超えている。  
 一般通報、転院搬送とも4分の3以上が直近病院（当番含む）に搬送されている。  
 なお、この直近病院には、第一当番以外のスーパー総合周産期センターに搬送された事例も含まれる。

## 2 病院の種類



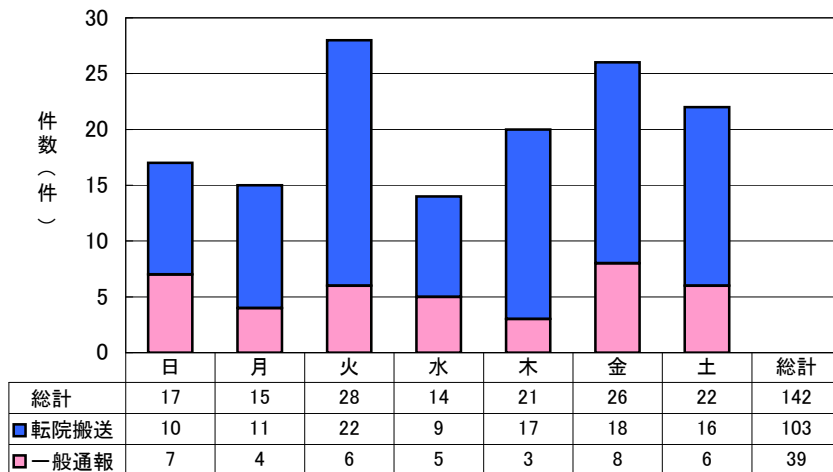
スーパー総合周産期センター4病院には、転院搬送では58件、一般通報では19件、計77件と全体の半数以上が搬送された。  
 また、スーパー総合周産期センター以外の周産期母子医療センター、周産期連携病院等の救命対応が可能な施設には、転院搬送45件、一般通報20件が搬送された。

## 3 月別（搬送の種類）



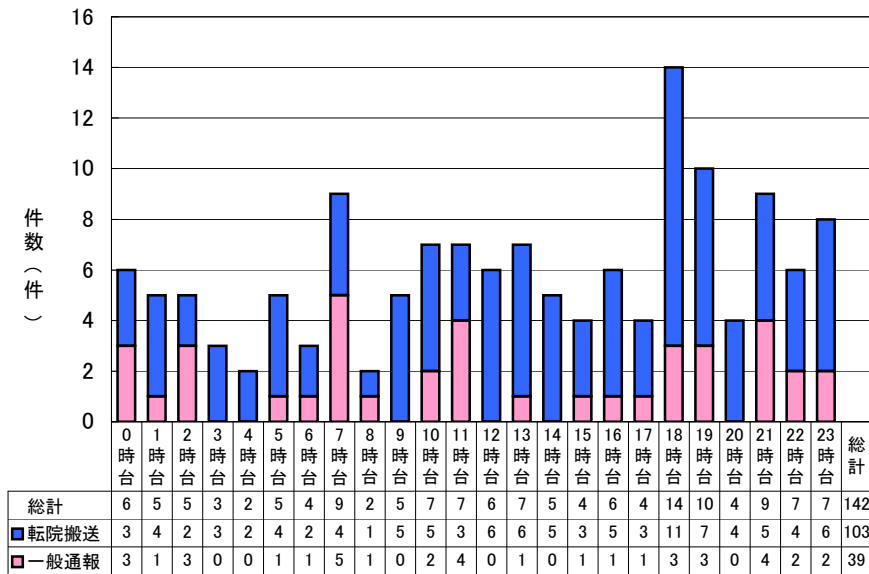
平成21年3月25日から運用したが、21年3月及び4月は事例はなく、5月以降から事例が報告された。  
 21年に比べ、22年の方が件数が多い。  
 どの月も転院搬送のほうが多いが、21年12月及び22年7月は半数が、22年12月は全数が一般通報であった。21年10月及び22年8月、23年1月は、一般通報はなかった。

#### 4 曜日別（搬送の種類）



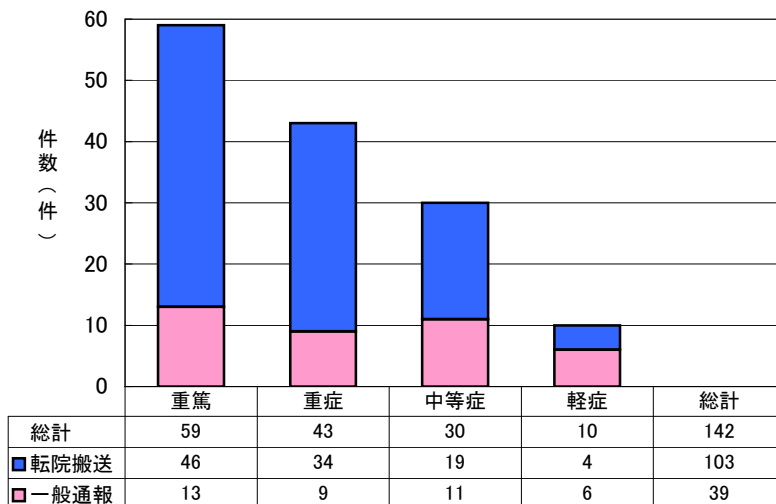
転院搬送は火曜日と金曜日が多く、一般通報では金曜日と日曜日が多い。

#### 5 時間別



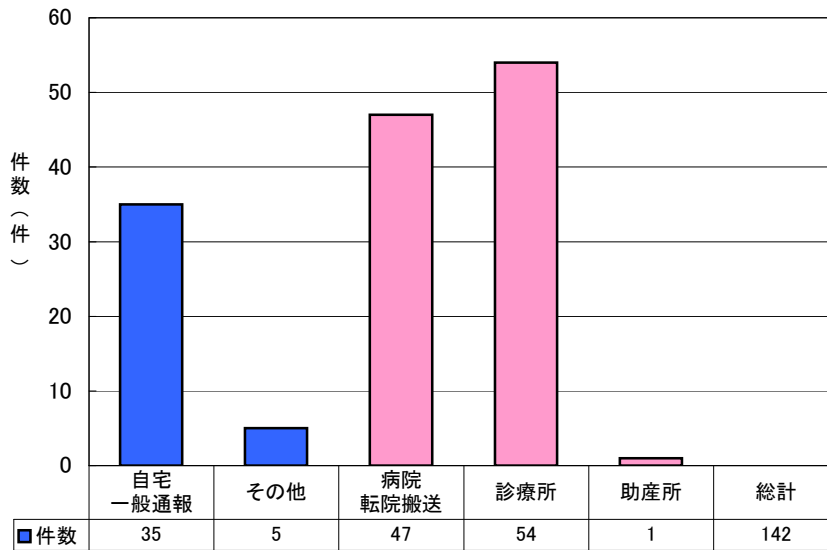
覚知の時間でみると、転院搬送は12時台、13時台、18時台及び19時台が多い。  
一般通報では、7時台、11時台、21時台が多い。

#### 6 重症度（病院報告）



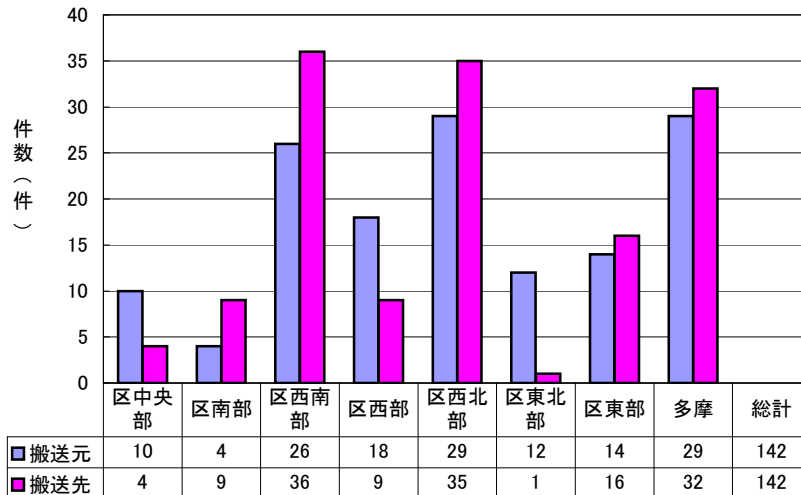
病院で確定診断が出てからの重症度では、重篤が59件、重症が43件であり、142件中102件（71.8%）がスーパー母体救命に相当すると考えられる。  
中等症では転院搬送が多く、軽症では一般通報が多かった。

## 7 搬送元医療機関等



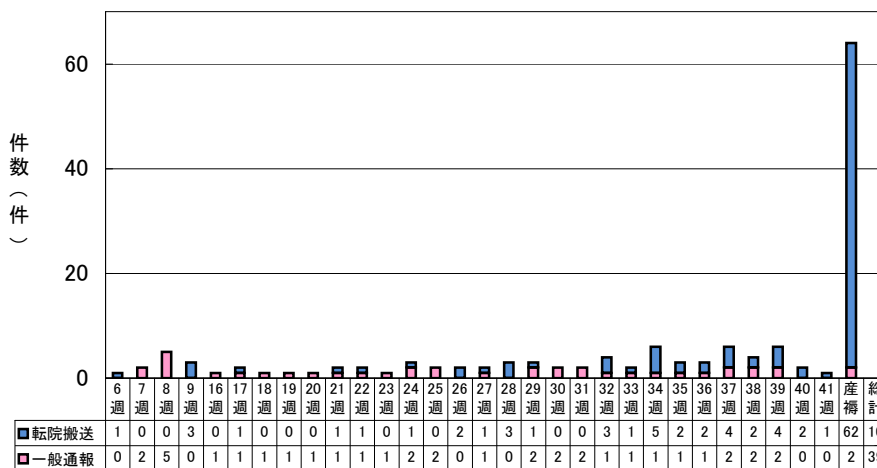
一般通報はほとんどが自宅からの搬送である。  
 転院搬送は、病院や診療所からの搬送が多く、助産所からは1件であった。

## 8 ブロック別搬送元及び搬送先



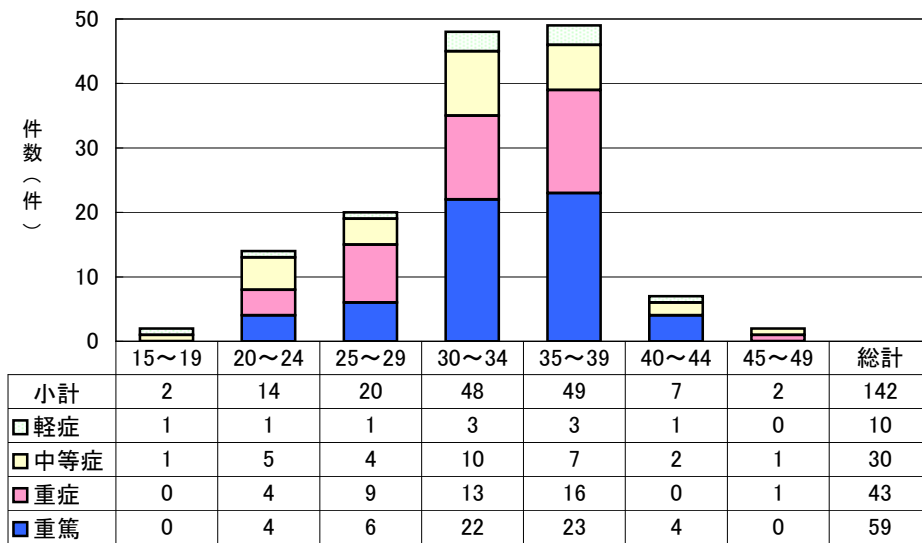
搬送元ブロックは、区西北部、区西南部と多摩が多い。  
 受入となる搬送先ブロックでは、区西南部が最も多く、次に区西北部、多摩となっている。多摩では区部からの搬送も受け入れている。

## 9 週数



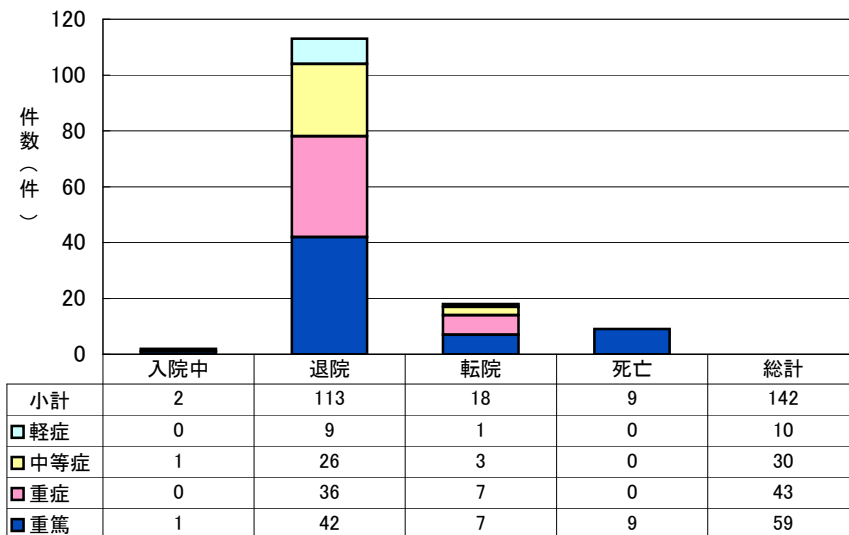
産褥が64件で最も多く、正期産である37週以上が19件であった。  
 34週以降36週までが12件、28週以降33週までが16件、22週以上27週までが12件、22週未満が19件あった。  
 母体週数が早い児の治療にNICUを必要とする事例もある。  
 なお、10週未満は子宮外妊娠や中絶後等であった。

## 10 母の年齢(重症度別)



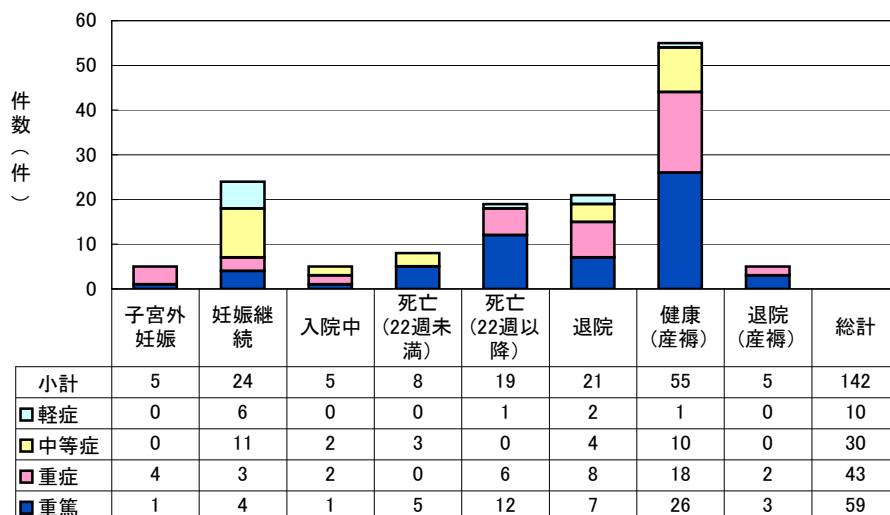
年齢が高いほうが、重篤の事例が多い。

## 11 母の転帰(重症度別)



退院が113件と最も多かった。  
18件が搬送元等に転院した。  
重篤のうち9例が死亡した。

## 12 児の転帰

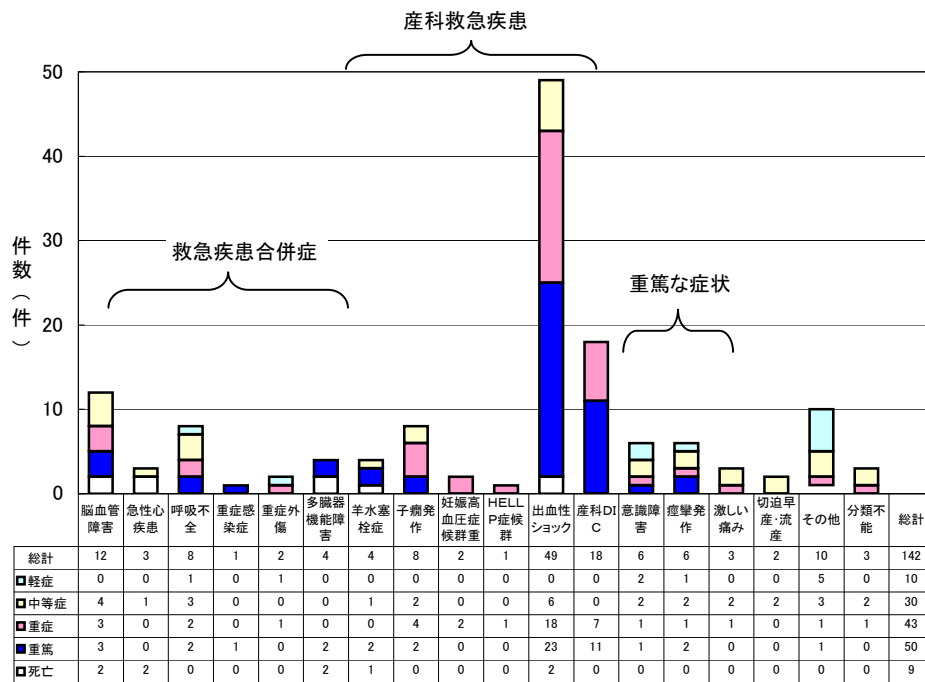


前医療機関で出産後の産褥搬送が多いことから、娩出後の児は健康という事例が55件あった。

母が重篤又は重症であっても、児は退院・妊娠継続した事例が多い。

一方で、胎児死亡(22週以降)となった事例が19例あった。

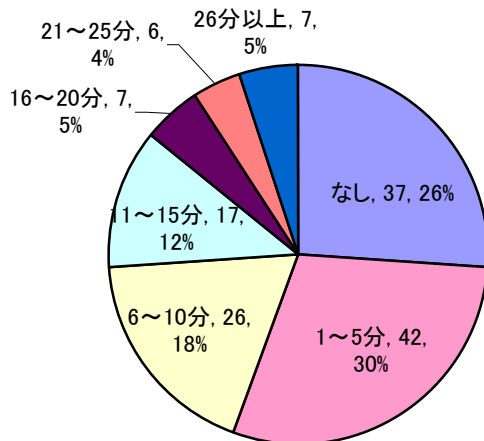
### 13 スーパー母体救命対象症例別疾患（診断後）



入院後診断された疾患名では、出血性ショック、産科DIC、脳血管障害が多い。  
 重篤・重症の事例では、脳血管障害、急性心疾患、多臓器機能障害といった、救急疾患合併症と、出血性ショック、産科DICなどの産科救急疾患が多かった。  
 また、死亡事例は、救急疾患合併症が多い。

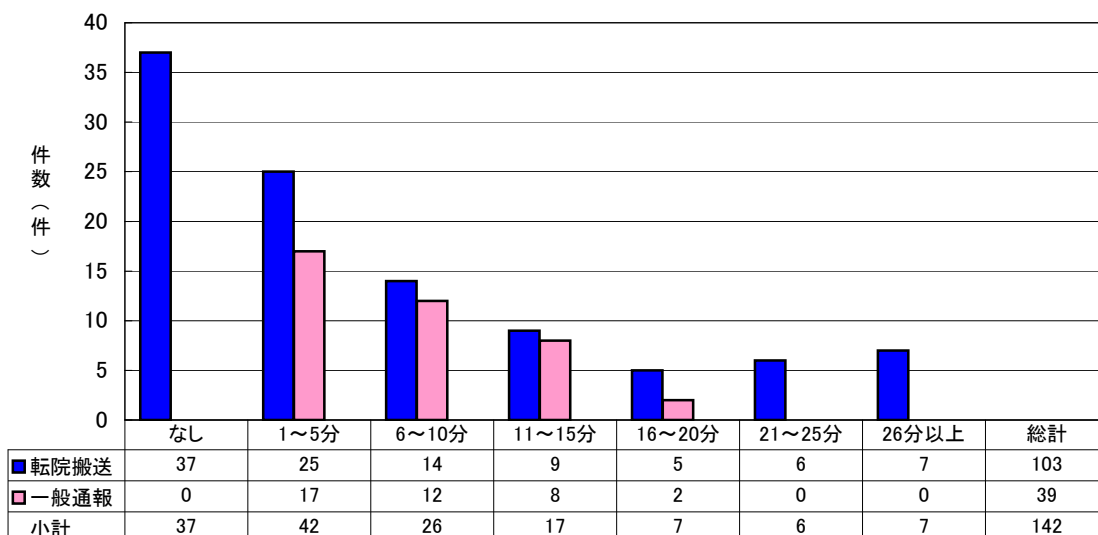
### 14 病院選定時間（平均10.0分、選定なし含まず）

（割合）



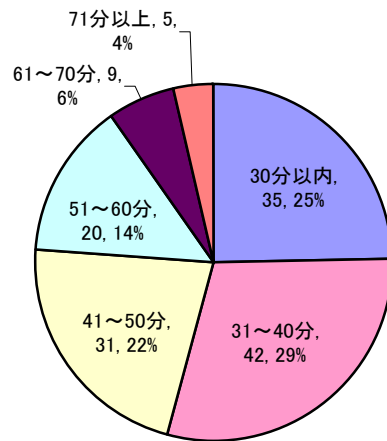
病院選定時間の多くは15分以内であった。  
 すでに搬送先が決定していた事例を除くと、選定に要した時間は、平均10分であった。

（分布）



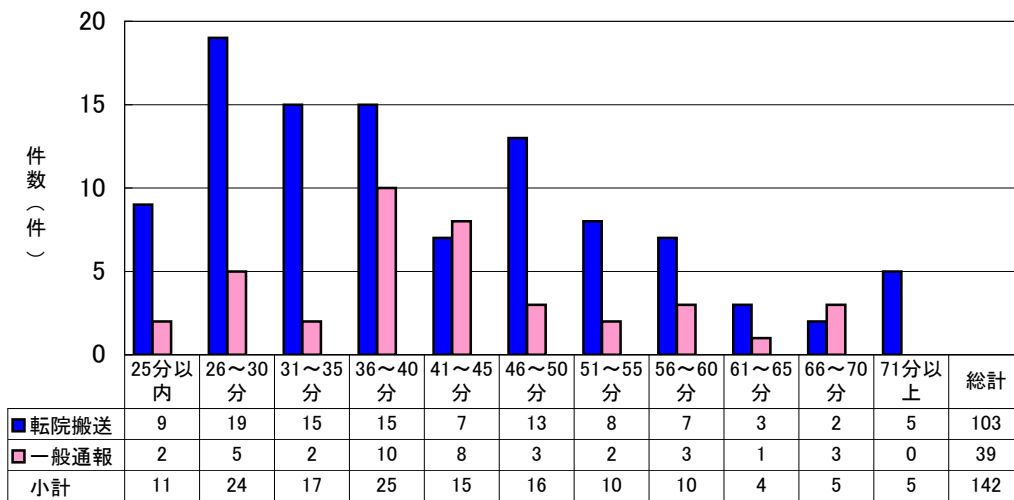
### 15 入院まで(覚知～病着)の時間 (平均42.0分)

(割合)

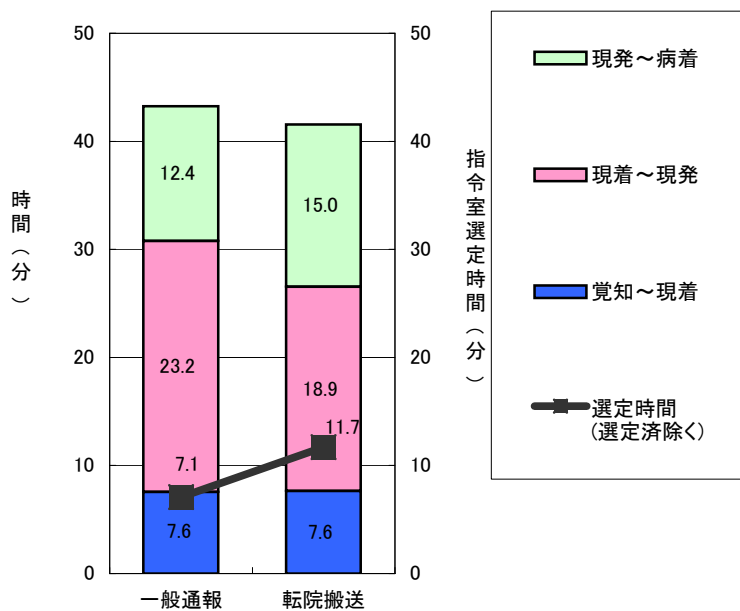


覚知から病着までの時間の多くは50分以内であった。  
 ただし、60分を超えるものが14件あった。  
 時間を要した事例は、転院搬送では、処置中であつたり、医療機関同士の連絡に時間を要した事例等であつた。  
 一般通報では、救命救急センターから産科への確認に時間を要した事例等であつた。

(分布)



### 16 搬送(覚知から病着まで)の平均時間と病院選定平均時間



搬送時間と指令室での病院選定時間を見ると、転院搬送は、一般通報に比べ、現場に到着してから現場を出発するまでの時間が短い一方で、現場から病院までの搬送時間が長い傾向にある。  
 転院搬送では、すでに搬送先病院が決定している場合は指令室での選定時間がないが、選定をしたものについては、病院決定まで平均12分程度となっている。